



# 夏まつり 2022

8月5日に児童会が企画した夏まつりを行いました。今回の企画は、私が児童会会长になってから一番規模が大きく、またコロナ禍ということもあり、気をつけなければならないことが多くあったのでとても難しかったです。

私は今まで人をまとめるという立場に立ったことがなかったのでとても不安でしたが、職員からアドバイスをもらいながら、みんなで協力し、話し合いを進めることができました。初めてのことだったのでなかなか自分から積極的に参加出来ず、遅刻して来る子やあまり参加してくれないと言っていた子もいましたが、この企画を通して自分から来るようになったり、楽しみながら自分の役割をしてくれるようになりました。みんなが最後まで責任を持ってやったので、この企画は成功できたと思います。

夏まつりが終わった後、多くの職員から小さい子どもたちが喜んでいたことに「ありがとう」と感謝の言葉を伝えられ、とても嬉しかったです！

良かったところも反省点もありましたが、私にとっても児童会メンバーにとってもとても良い経験になりました。この企画から学んだことを活かして自分たちにできることが増やせるよう、これからも頑張っていきます！

児童会会长 K.S(高3)



若松園には、子どもたちが主体となって活動する児童会があります。子どもたちが「若松園をより良い場所にするためには」と自ら考え、子どもたちが意見表明をし、大人と話し合いでいる場を設けています。

コロナ禍となって以来、課外活動や若松園まつりなどの楽しい行事が実施出来ない状況が続いている。子どもたちの「何か楽しいことをしたい！」という想いを叶えるべく、児童会の子どもたちより何か企画を考えたいという提案があり、児童会のメンバーを中心に話し合いをし、今年も児童会主催の夏まつりを開催しました。

「何をすればみんなが楽しめるか」、「楽しい思い出をみんなで作りたい」と話し合いを重ね、試行錯誤しながら協力し準備をしてきました。

当日は、児童会の子どもたちが司会や音響を担当し、ホームごとに様々な屋台を出店しました。最後にはみんなで花火を囲み、夏らしさを満喫することができました。

夏まつり当日までは、とても忙しい毎日でしたが、参加した子どもたちからの「楽しかった！」、「ありがとう！」という声は、児童会のメンバーにとって達成感や喜びに繋がったように感じます。この行事を通して、私たち職員も生活の中では見ることができない一面や、子どもたちの成長した姿を見ることができ、感慨深いものがありました。子どもたちと一緒に一つの目標に向かって励む中で、一生懸命取り組む姿や良い表情で過ごす様子を見ることができ、貴重な体験となったのではないかと思います。

児童会担当職員 福田杏菜



第44号  
発行

社会福祉法人  
備作恵済会 若松園

〒703-8261  
岡山市中区海吉206番地  
TEL (086) 277-2261 (代)  
FAX (086) 276-6925  
<http://www.wakamatsuuen.or.jp/>

線香花火、  
落ちないで…



## スマホ安全教室



6月18日、7月16日にこれからスマホを持とうと考えている子ども、地域の保護者向けの“スマホ安全教室”を初めて開催しました。

当日は、地域の方だけでなく、若松園の子どもも11名参加しました。参加した子どもに感想を聞くと「自分の身は自分で守ると言われて、確かにそんなトラブルを起こさないようにするには、自分で気をつけないといけないなと思いました」、「無料広告の怖さを知った」と教えてくれました。

スマホの便利さの裏に怖さがあることや、子どもと大人がルールと一緒に作ること、大人に相談する事の大切さを子どもたちに知つてもらえたのは良かったと思います。



## お知らせ

社会福祉法第82条の規定により、本法人では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

本法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めていますので、何かあればお気軽にご相談ください。

\*若松園 苦情解決責任者

津嶋 悟

\*若松園 苦情受付担当者

廣瀬 由貴

☎ 086-277-2261

<第三者委員>

\*新見公立大学  
地域福祉学科 特任教授

八重樫 牧子

☎ 086-720-0634

\*主任児童委員

來住 久益子

☎ 086-274-7983

遊びコーナーでは、  
スカットボールをしました！



## 情報公開について

定款、現況報告・総括表、決算書、事業報告を若松園ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

また、ホームページにてブログを更新しています。  
子どもたちの日頃の様子、園の取り組み等を紹介しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

<http://www.wakamatsuuen.or.jp/>

## お問い合わせ

「きらきら」に対する御意見、御感想がありましたら、ぜひ下記のメールアドレスまでお寄せ下さい。

また若松園に対する質問もこちらのアドレスまでお願いします。

[sbw206@ceres.ocn.ne.jp](mailto:sbw206@ceres.ocn.ne.jp)

## 編集後記

きらきら44号を読んでください、ありがとうございます。相変わらずのコロナ禍ではありますが、昨年に比べて子どもたちとお出かけをしたり、行事を行なうことができたので、子どもたちの嬉しそうな様子を知つたらと思います。

児童家庭支援センターどんぐりの活動も引き続きお伝えしていくのでお楽しみに！

(編集委員一同)



# いざ収穫!!



美味しい焼けるかな



はたけでと、大きくなりで  
かはまきをつくりました。  
おいしいしかたです。  
またつくれてたやたいです。

F・K



はたけ(ナフリ)から大へんでした。土をまぜたり  
野菜のなえで木育えたりネットをつけました。  
(はじめて自分で育てて思ひながら水やりをしました。  
ではたとときは嬉しいかったです。 K.A



## ひいらぎの家

4月から地域小規模児童養護施設「ひいらぎの家」での新生活がスタートしました。

子どもたちも職員もこれからの新生活にドキドキわくわく…ひいらぎの家に初めて入った時には「大きい!」「きれい!」と子どもたちは興奮気味。最初はまだまだ慣れないお家で子どもたちもソワソワしている様子もありましたが、慣れてくるとリビングのソファに座ってゆっくりテレビを見たり、職員と一緒におやつ作りをして過ごしたりと今ではごくごく当たり前な普通の生活スタイルになっています。

地域のお家では毎日ご飯を作ります。本園では食堂で作られたご飯をいただいていましたが、地域ではホーム職員が毎食作ります。近くで調理をしている様子を子どもたちが見ていると「やってみたい」「これってこうやって作るんじゃな」と興味を持ち、初めて知ることもたくさんあったようで、食への関心も高まっています。

回覧板を次のお家へお届けすること、近所のお友達と登校班で小学校へ登校することなど地域の方々との関わりが増え、本園では経験することが出来なかったことを経験し、より家庭に近い環境で生活していることを実感しています。子どもたちはすっかり新しいお家の生活にも慣れ、それぞれ目標を持って生活をしています。勉強や部活動を頑張っている子、習い事を一生懸命している子、職員もそんな子どもたちの頑張りをサポートしていけるように寄り添っていきたいと思います。

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。子どもたちは毎日元気に学校へ登校しています。家に帰ってきた時にはと安心できる、子どもたちにとって居心地の良いお家にしていきたいと思います。

中畠彩香



あぢらしいつくえ  
うれいしな



料理って  
うすくいな



散歩中...♪



## 園内花見の会

3年ぶりに花見の会を開催しました。

感染対策として、ホームごとに分かれて食事をとることや参加者は若松園の子どもと職員のみという制限もありましたが、久しぶりの開催ということもあり、子どもたちは大喜び!! 大きな桜の木の下で、ひとときの団欒を楽しみました。

以前のようにみんなで集まってお花見が出来る日が来ることを待ちにしています。

## ストラックアウト大会!!



5月には、チーム対抗ストラックアウト大会を行いました!  
ホームごとにチームを組み、チームで何枚プレートを倒せるかを競い合いました。チームには、職員も加わり、優勝を狙います。

全員の投球が終り、点数を集計してみると、なんと同率1位のチームが…。同率1位のチームによる延長戦の結果、「けやき・なでしこの家合同チーム」の優勝!!

延長戦最後の試合まで子どもたちは一生懸命投球し、負けたチームも一生懸命応援をしていました。

またみんなで集まり身体を使うようなイベントを企画していきたいと思います!

### Summer Vacation

**はじめの  
木下大サーカス  
大のしがた**

E.R

**おしゃキャン**

今年もおしゃれキャンプをしました。各自、寝るテントをお洒落に飾り付けしました。中には飾り過ぎてお洒落でなくなっているチームも…?

1日目の夜はバーベキュー。お肉をたらふく食べた後はデザートに焼きマシュマロ。『誰が1番上手に焼けるか選手権』が始まります。

2日目はプール遊びをしたり、ダッヂオーブンと焚火でカレーを作ったりと園内のキャンプを満喫することができました。

**カヌー&セーリング体験**

牛窓にてカヌー&セーリング体験をしました。さらに待ち時間にはクルージングをすることもでき、とても良い経験になりました。

**夜はナイトシアター**

シーカヤックは左右に動くので、真だんごが難しかたです。でも、コツを掴むといのカヌー♪

川のカヌーと遊ぶ